

KANAZAWA UNIVERSITY DATA'15

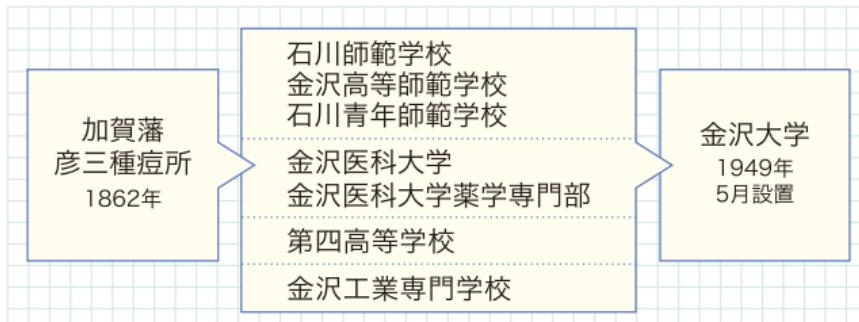
データで見る金沢大学 2015

- 1 組織・沿革
- 2 入学状況
- 3 学生数及び附属学校幼児・児童・生徒数
- 4 卒業後の進路
- 5 教育
- 6 研究
- 7 科研費
- 8 産学官連携
- 9 社会貢献
- 10 生涯学習
- 11 国際交流・外国人留学生
- 12 附属図書館・資料館
- 13 附属病院
- 14 収入・支出予算額
- 15 職員数
- 16 キャンパス面積



1 組織・沿革

歴史と伝統を引き継ぎ、未来へ向けて改革する3学域・16学類・5研究科・1研究所の総合大学です。



3学域・16学類

人間社会学域

人文学類／法学類
経済学類／学校教育学類
地域創造学類／国際学類

理工学域

数物科学類／物質化学類
機械工学類／電子情報学類
環境デザイン学類
自然システム学類

医薬保健学域

医学類／薬学類
創薬科学類／保健学類

附属病院

がん進展制御研究所

附属図書館

学内共同教育研究施設

地域連携推進／学際科学実験／
総合メディア基盤／外国語教育研究
環日本海域環境研究／大学教育開発・支援
環境保全／子どものこころの発達研究 の各センター

健康管理センター

共通教育機構

グローバル人材育成推進機構

新学術創成研究機構

先端科学・イノベーション推進機構

国際機構

学内共同利用施設

極低温研究室／資料館／埋蔵文化財調査センター
技術支援センター

男女共同参画キャリアデザインラボラトリー

大学院5研究科

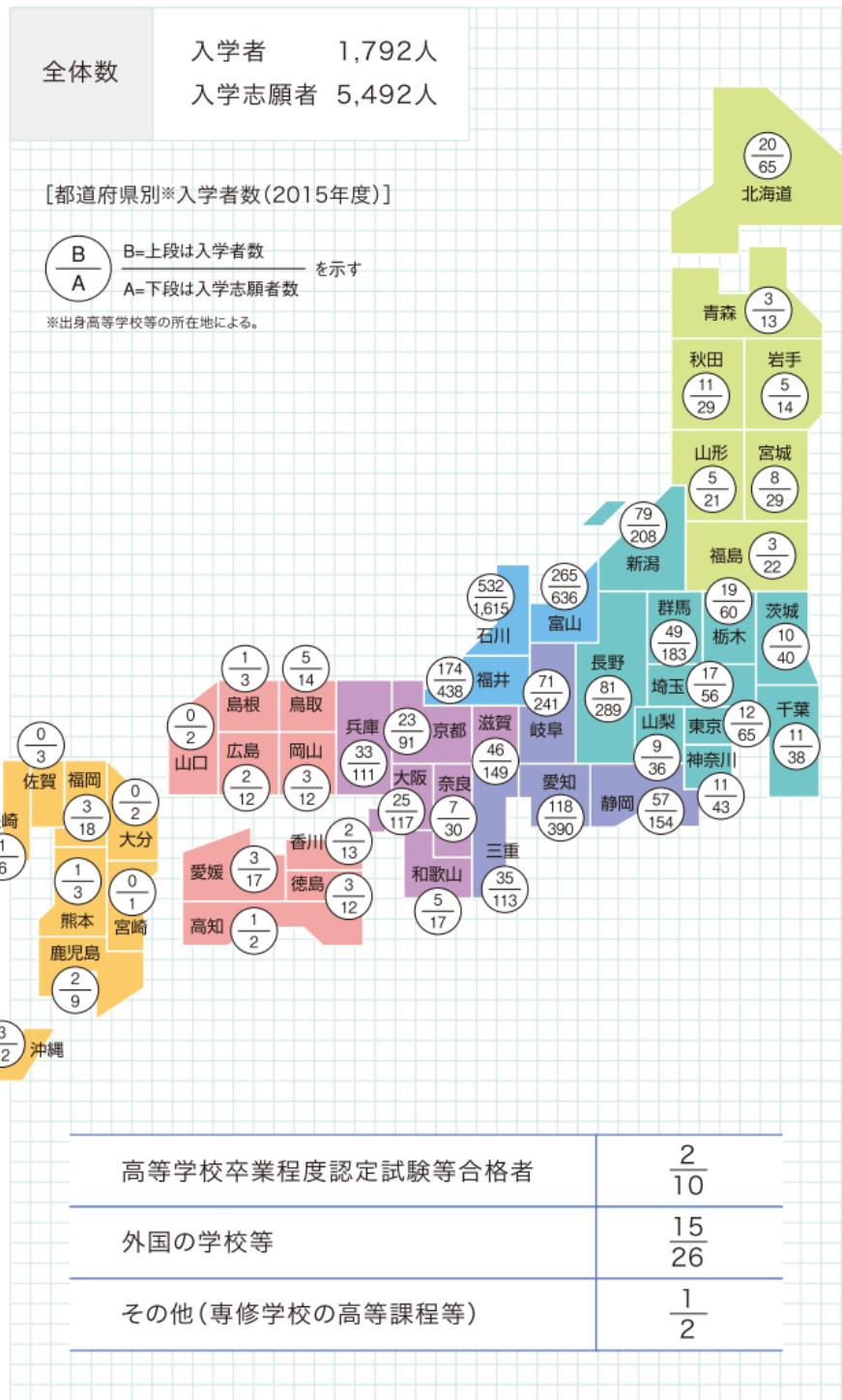
教育学研究科
人間社会環境研究科
自然科学研究科
医薬保健学総合研究科
法務研究科(法科大学院)

- 金沢大学の起源は1862年の加賀藩彦三種痘所まで遡ることができます。150年以上の歴史があります。
- さまざまな学校の歴史と伝統を引き継ぎ、1949年5月に新制大学として発足しました。
- 2004年4月、設置者を国から国立大学法人に変え、新たな一步を踏み出しました。
- 2008年4月、社会の要請に応じた優れた人材の育成と、時代が求める新しい学問領域の開拓を図るために、これまでの教育組織である8学部・25学科・課程を3学域・16学類に再編・統合しました。
- 2014年5月、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に基づき、グローバル社会をリードする人材の育成と、世界に通用する研究拠点の形成を進めるため、「YAMAZAKIプラン2014」を策定しました。

2 入学状況

地元北陸3県を中心に 全国各地から入学者が集まる総合大学

■入学者の地域別内訳は、北陸3県が54%，関東・甲信越地域が17%，東海地域が16%，近畿地域が8%の順となっています。



3 学生数 及び附属学校園幼児・児童・生徒数

附属学校園を含め
約12,000人の学生が在籍
うち女子学生は4,503人(約38%)

[学域等別学生数]

(単位:人)

学域・学部		学生数	研究科	学生数
人間社会学域	人文学類、法学類、経済学類、学校教育学類、地域創造学類、国際学類	3,242 (1,637:51%)	大学院修士 (博士前期) 課程	1,310 (328:25%)
理工学域	数物科学類、物質化学類、機械工学類、電子情報学類、環境デザイン学類、自然システム学類	2,712 (403:15%)	大学院博士 (博士後期) 課程	987 (284:29%)
医薬保健学域	医学類、薬学類、創薬科学類、保健学類	1,946 (977:50%)	専門職学位課程 (法務研究科)	32 (10:31%)
学部	文学部、教育学部、経済学部、医学部、薬学部、工学部	11 (4:36%)	計	2,329 (622:27%)
合計		7,911 (3,021:38%)	その他 別科	32 (31:97%)
合計	(収容定員 9,441)	10,272(3,674:36%)		

()内の数値は女子学生の人数及び割合%です。

■附属学校園幼児・児童・生徒数は、幼稚園127人、小学校660人、中学校471人、高等学校375人、特別支援学校59人の計1,692人です。

[附属学校園在籍者数]

(単位:人)

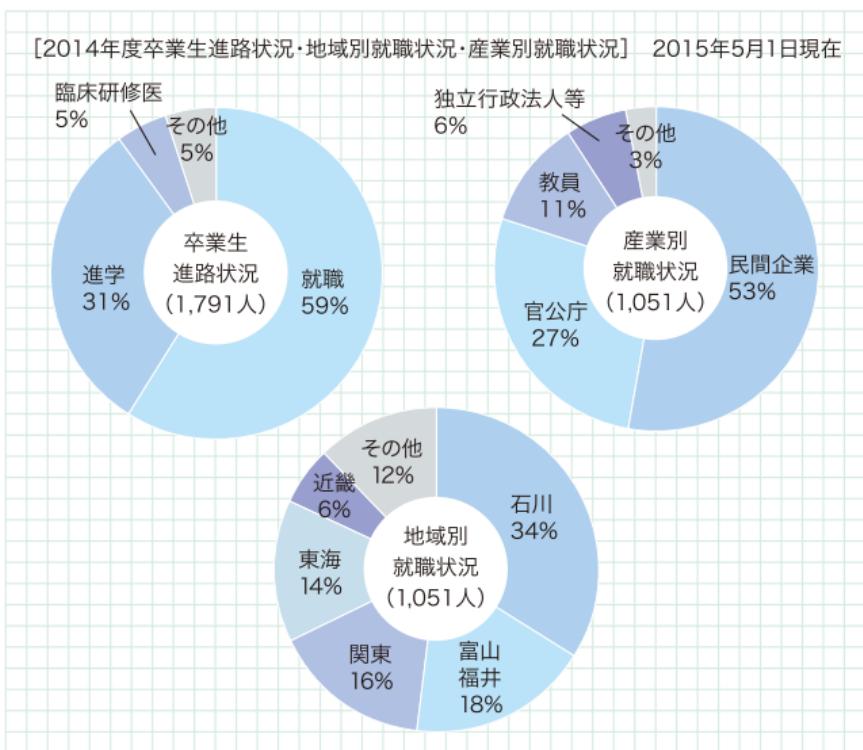
学校名	在籍者数	学校名	在籍者数
幼稚園	127(59:46%)	高等学校	375(177:47%)
小学校	660(334:51%)	特別支援学校	59(24:41%)
中学校	471(235:50%)	合計	
		1,692(829:49%)	

()内の数値は女子児童・生徒の人数及び割合%です。

4 卒業後の進路

学域・学部卒業者の約30%が進学
理工学域においては66%が進学

- 学域・学部卒業生の累計は、85,887人に達し、社会の各方面で活躍しています。
- 2014年度学域・学部卒業生(1,791人)の31%が大学院等へ進学。
- 就職者の27%が官公庁に就職。就職エリアは北陸が52%でトップ(石川県34%)。



官公庁へ多くの人材を輩出

- 金沢大学では、就職支援室が中心となって、就職指導・支援の充実を図るとともに、大学生協とタイアップして公務員試験対策講座を開講するなど、合格に向けた支援の強化を図っています。
- その成果として、地方公務員試験合格者数は全国の大学の中で常に上位にあり、難易度がそれに類する国家公務員一般職試験で、2014年度は行政93人、技術系18人が合格。また、同年度の国家公務員総合職試験に15人が合格するなど、難関と言われる国家試験でも健闘しています。

5 教育

本当に学びたいものが学べる学士教育

- 「学類」という枠組みで入学した学生は、そこで学びの基礎を固めつつ、自分が本当にやりたいテーマを探すことができます。
- 「経過選択制」により、基礎基本を学びながらじっくりと自分のテーマを選ぶことができます。
- それぞれの学類・コース・専攻において、必要最小限の科目を「コア・カリキュラム」として整備。学びの核をつくるとともに「主専攻」「副専攻」を用意。これにより学際的、横断的な学びが可能です。

さまざまな学生支援を展開

金沢大学の特色ある取組みとして、さまざまな学生支援を行っています。

- 大学生活のスタートをサポートする導入科目。社会生活の基礎から現代教養や将来設計まで幅広いレクチャーを受ける「大学・社会生活論」と、自発的な学習能力の基礎を身につける「初学者ゼミ」。
- 学習・履修方法やコース選択などについて、一人ひとりに親身な指導を行うアドバイス教員制度。
- 履修と大学生活に必要な情報が網羅されている「アカンサスポータル」、学習の記録や履歴を見ることができる「学習ポートフォリオ・システム」やe-ラーニングと呼ばれる講義等、ＩＣＴを活用した自学自習を行う環境を整備。

学位授与数は全国20位

[2013年度大学別学位(課程博士)授与者ランキング]

順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数	順位	大学名	授与件数
1	東京大学	1356	8	名古屋大学	491	15	岡山大学	237
2	京都大学	827	9	筑波大学	455	16	明治大学	212
3	大阪大学	706	10	東京工業大学	354	17	東京医科歯科大学	200
4	九州大学	612	11	神戸大学	296	18	日本大学	184
5	東北大学	587	12	広島大学	295	19	慶應義塾大学	167
6	北海道大学	514	13	千葉大学	283	20	金沢大学	159
7	早稲田大学	513	14	中央大学	277			

朝日新聞社「大学ランキング2016年版」より

- 共通教育機構では、「全学共通科目」を開講し導入教育を行うとともに、広い視野や現代的問題意識を養う「総合科目・テーマ別科目」、学問体系の基本を学ぶ「一般科目」、言語能力を培う「言語科目」など、多彩な科目群を用意。また、2011年度から、学生の体的・精神的・社会的・文化的な成長を目的とした「全学共通科目」を編成するなど、改革を進めています。

6 研究

学術論文被引用数、国内**20位**
薬学・毒性学分野では国内**7位**
神経科学・行動科学分野では同**10位**

- 大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして「学術論文」の被引用数があります。トムソン・ロイター社「Essential Science IndicatorsSM」データベースによれば、2004年1月～2014年12月の11年間の論文被引用数は、金沢大学は国内で20位、世界613位にランクされています。
- 分野別では、薬学・毒性学分野が国内大学中7位、神経科学・行動科学分野が同10位と、質・量ともバランスのとれた教育重視の研究大学です。

【日本の論文の引用動向 2004.1-2014.12 日本の研究機関ランキング】

【①全分野(ALL FIELDS) 4,744機関】(論文被引用数で上位1%に含まれる機関数)

国内順位	世界順位	機関名	論文数	被引用数	平均被引用数
1	38	東京大学	80,985	1,331,945	16.45
2	68	京都大学	59,129	907,244	15.34
3	90	(独)科学技術振興機構	31,708	771,841	24.34
4	102	大阪大学	45,977	720,602	15.67
5	140	東北大学	45,048	583,711	12.96
6	176	(独)理化学研究所	23,400	485,733	20.76
7	198	名古屋大学	30,281	438,117	14.47
8	222	(独)産業技術総合研究所	27,451	397,978	14.50
9	227	九州大学	31,358	389,295	12.41
10	249	北海道大学	30,466	363,542	11.93
11	296	東京工業大学	24,956	307,623	12.33
12	357	筑波大学	18,657	258,198	13.84
13	427	慶應義塾大学	14,608	203,457	13.93
14	436	広島大学	15,662	192,545	12.29
15	449	(独)物質・材料研究機構	13,724	185,803	13.54
16	460	岡山大学	13,893	180,157	12.97
17	501	千葉大学	11,807	157,132	13.31
18	521	神戸大学	11,293	143,976	12.75
19	534	東京医科歯科大学	7,873	137,290	17.44
20	613	金沢大学	7,821	114,267	14.61

○トムソン・ロイター社「Essential Science IndicatorsSM」データベースを基に作成。

(世界順位等の情報は上記データベースから転記。それ以外は研究推進部研究推進課調べ)

○データは、2004年1月～2014年12月の11年間の論文被引用数等に係るデータ。

○本ランキングは大学のみならず研究所や企業などの研究機関も含んだ研究機関ランキングであり、大学ランキングではない。

7

科研費

日本の学術振興のため優れた研究を支援する「科研費」の新規採択件数は全国で14位(2014年度)

■科研費の2015年度国の助成額は2,318億円で、前年度に比べて13億円増加しています。

- ・採択件数**801件** ※2015年度 新規+継続合計
- ・採択金額**18億1,662万円**

採択金額
10年前に比べて
45%増



■2014年度、新規採択件数は全国で14位

[2014年度科研費 採択件数ランキング(新規採択分)]

順位	大学・機関名	採択件数	順位	大学・機関名	採択件数	順位	大学・機関名	採択件数
1	東京大学	1,400	8	筑波大学	435	15	岡山大学	316
2	京都大学	1,130	9	広島大学	389	16	千葉大学	310
3	大阪大学	987	10	慶應義塾大学	371	17	(独)理化学研究所	303
4	東北大学	904	11	東京工業大学	370	18	新潟大学	270
5	九州大学	737	12	神戸大学	357	19	熊本大学	247
6	北海道大学	635	13	早稲田大学	353	20	東京医科歯科大学	243
7	名古屋大学	618	14	金沢大学	326			

注1)研究代表者の所属する大学等により整理している。

文部科学省「平成26年度科研費(補助金分・基金分)の配分について」より

■金沢大学では、応募書類作成のための説明会を開くなど、科研費の一層の獲得増を目指しています。

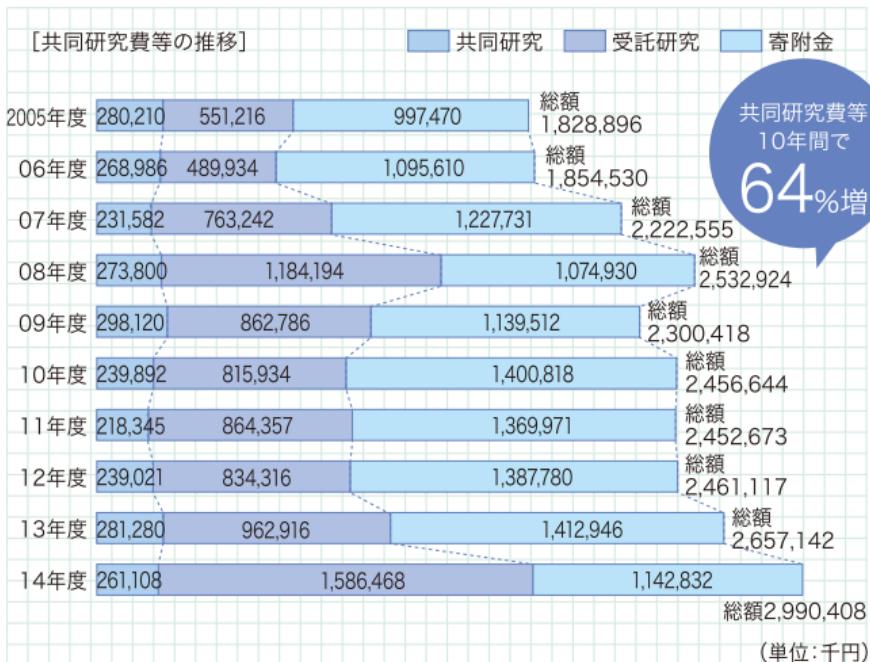
8 産学官連携

金沢大学では「先端科学・イノベーション推進機構」を窓口として、産業界との連携を図るため、共同研究、受託研究を推進しています。

- 2014年度の共同研究・受託研究の合計件数は403件で、10年前に比べて1.68倍に増えています。
- 2013年度の民間企業との共同研究は、全国の国公私立大学の中では、件数別で21位です。(文科省「2013年度大学等における産学連携等実施状況調査」より)

共同研究費等は10年間で**64%**増。

- 金沢大学における2014年度の共同研究、受託研究、寄附金を合わせた金額は、29億9,041万円となっており、産学官連携による資金の獲得を積極的に図っています。



2013年度特許権実施件数 全国**12位**
特許権実施工料収入 全国**13位**

- 2014年度は、発明届出95件、特許出願77件といずれも順調な伸びとなりました。
- 2014年度の特許権実施工料収入は39,610千円と、順調に高い伸びで推移しています。

9 社会貢献

地域・社会とともにある大学をめざし 積極的な社会貢献活動を展開

■ 10の自治体と連携協定を締結。 大学の人材や知的財産を地域の活性化や 課題解決に生かします。

地域との連携協定状況 ※()内は協定締結日

- | | | |
|------------------|------------------|---------------------|
| ①石川県(2009.4.23) | ⑤能登町(2012.7.13)※ | ⑨小松市(2012.1.26) |
| ②輪島市(2012.7.13)※ | ⑥七尾市(2012.5.23) | ⑩富山県南砺市(2014.12.18) |
| ③珠洲市(2012.7.13)※ | ⑦金沢市(2009.3.27) | |
| ④穴水町(2012.7.13)※ | ⑧能美市(2011.7.26) | |

※②-⑤については石川県立大学、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町の1大学4自治体との地域づくり連携協定を締結しています。

■これまでに107人の里山里海マイスターを輩出。 里海・里山プロジェクトで地域人材の養成に 取り組んでいます。

能登里山里海マイスター 育成プログラム

過疎化が進行する能登半島の活性化をめざし、石川県、奥能登2市2町および地元企業と連携し、環境配慮型の農林水産業を志す若い世代を「里山里海マイスター」として育成するプログラム。



プロジェクトの拠点「能登学舎」
(珠洲市・旧小泊小学校)

能登里山里海研究部門(珠洲市)

珠洲市からの寄附により、里山里海研究を基盤として地域の人材養成など地域活性化につながる事業を実施します。

フィリピンイフガオマイスター養成事業

(JICA草の根技術協力)

世界遺産「イフガオの棚田」の持続的発展を担う人材養成プログラムの構築のために、金沢大学の能登における人材育成のノウハウを活用します。

■ 約74haの広大な里山ゾーンを地域に公開。 築300年の古民家を移築した「角間の里」は 大学と地域の人々との交流拠点です。



角間の里山



金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」

角間キャンパスの「里山ゾーン」は、全国の大学の中でも有数の環境資源に恵まれています。この里山ゾーンを地域の住民や学生とともに保全しながら21世紀型の里山活用を検討する組織として「角間里山本部」が設置されています。また、ゾーン内には白山麓旧白峰村にあった築300年の豪農民家を移築した金沢大学創立五十周年記念館「角間の里」があり、金沢大学の社会貢献の基地として、また、地域住民の多様な生涯学習の場として活用されています。

10 生涯学習

開かれた大学づくりにより
2,012人の生涯学習をお手伝い

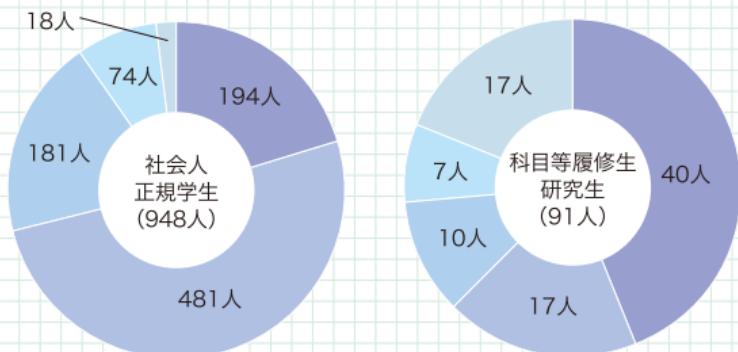
1,039人の社会人学生を受け入れています。

- 社会人学生が学びやすい環境を整えるため、土日・夜間に講義・研究指導を受けられる特例措置や、入学から卒業・修了までの履修期間を予め長く設定できる制度を設けています。

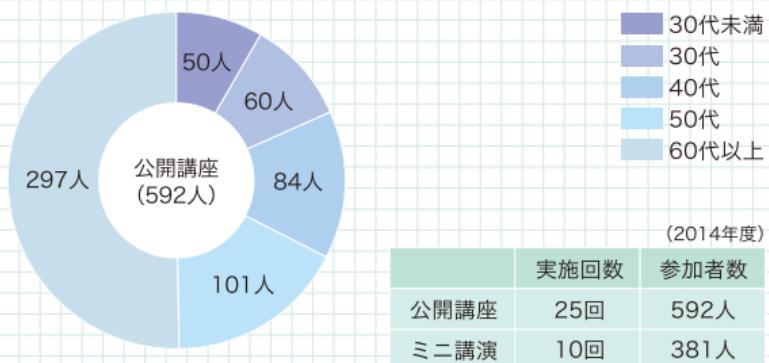
公開講座・ミニ講演には、幅広い年齢の973人が参加。

- 金沢大学では、開かれた大学づくりを推進し、行政・関係団体・グループなどと協力し合いながら、地域の人たちの生涯にわたる学習活動のお手伝いをしています。
- 大学が持つ専門知識を生かした取り組みとして、1976年から公開講座を毎年開講。幅広い分野の講座を企画し、一人ひとりの自発的な学習活動を支援しています。また、地域との交流を深めるために大学の最先端研究を分かりやすく解説するミニ講演の実施など、生涯学習しやすい社会づくりに貢献しています。

[社会人学生の年代別内訳(2015年5月現在)]



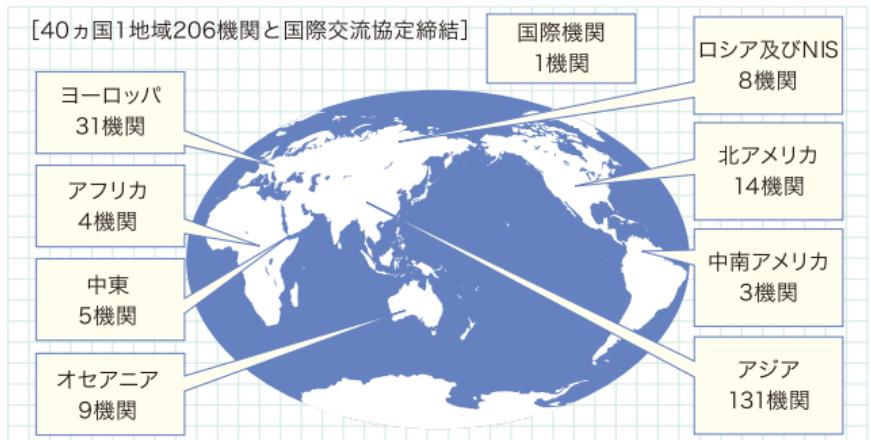
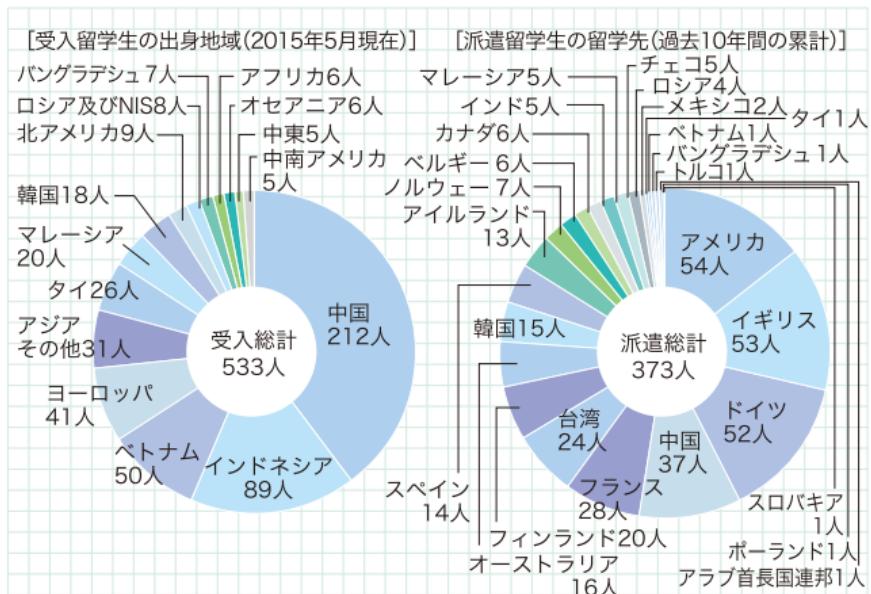
[公開講座参加者の年代別内訳(2014年度)]



11 国際交流・外国人留学生

環日本海の基幹大学、
東アジアのアカデミアの拠点として、
世界のトップ大学との交流を積極的に推進

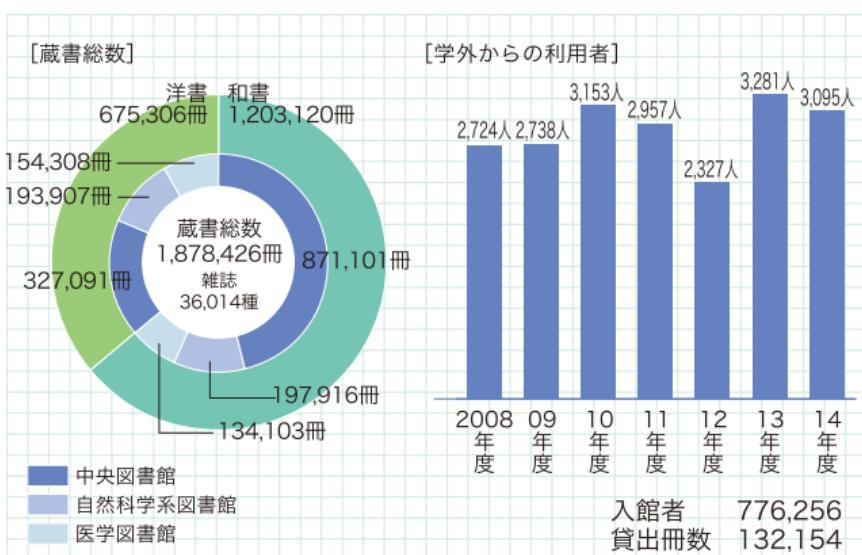
- 金沢大学は、環日本海域の基幹大学、東アジアのアカデミアの拠点として、アメリカ、ヨーロッパ、アジア地域のトップ大学との交流を積極的に推進しており、世界の40カ国、200を超える機関と協定を締結しています。
- 金沢大学で学ぶ外国人留学生は、世界47カ国・地域からの計533人です。うち85%にあたる453人がアジア地域からの留学生です。中でも、中国からの留学生が一番多く、212人を数えます。
- 近年では、毎年50名余りの学生が協定校に留学（期間3ヵ月～1年）しています。留学先で多い国は、アメリカ、イギリス、ドイツ、中国です。このほか、アメリカ、ドイツ、フランス、中国の協定校等の短期語学研修プログラムに派遣するなど海外留学を促進しています。



12 附属図書館・資料館

蔵書数は**188万冊**。検索も可能です。
電子ジャーナルは**7,000**タイトル以上と充実。
図書館ウェブサイト

<http://library.kanazawa-u.ac.jp/>
金沢大学の研究成果も発信中
<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/>



- 附属図書館は、中央図書館(角間キャンパス北地区)、自然科学系図書館(角間キャンパス南地区)及び医学図書館(宝町・鶴間キャンパス)の3館で構成され、合わせて年間約78万人の入館者と、13万冊の館外貸出があります。
- 県内公共図書館と協力して図書館ネットワークを形成しており、来館の利用者(北陸3県在住者)に直接貸出をするほか、公共図書館を窓口とした貸出の申し込みも受け付けています。また、平日は午後10時まで開館し、中央図書館では日曜日も開館するなど、社会人や地域の方にも積極的に学習の機会を提供しています。
- 金沢大学学術情報リポジトリKURAにより、本学教職員の教育・研究活動の結果として生み出された学術成果(論文や研究データなどのコンテンツ)を電子的な形態で保存し、インターネット上で世界に向かって公開しています。

- 資料館は1989年、金沢大学の角間移転を機に設置され、文化史、自然史、科学史にわたる「学術標本」や「金沢大学史料」を収集・保存し、公開しています。主なコレクションとして、加賀藩校「明倫堂」「経武館」の扁額、第四高等学校の物理実験機器、著名な宗教家暁烏敏の陶磁器コレクションなどを所蔵しています。また、学内外の皆さんに広く大学史を知っていただけるように、特別展や企画展を開催しています。

収蔵資料総数

約76,000点 (モノ資料 65,000点 文書資料 11,000点)

入館者数

6,420人

13 附属病院

1日平均患者数は**2,295人**, ベッド数合計**838床**, 看護師**864人**を含む合計**1,806人**のスタッフで手厚い医療・看護を実施

診療科数 34科	ベッド数 838床		
診療状況			
外来	入院		
延患者数 377,573人	1日平均患者数 1,553.8人	延患者数 270,401人	1日平均患者数 740.8人

※外来診療日数243日 ※患者数は2014年度

内科・外科部門を中心に、各臓器別・疾患別に34科の専門診療科

■附属病院は、高度で良質な医療を提供する特定機能病院として、患者のかかりつけ医である地域の病院・診療所、そして保健行政機関、医師会等との地域医療支援ネットワークづくりを進めています。2007年には厚生労働省から「都道府県がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。石川県の中心的ながん診療機能を担い、地域医療機関等と協力しながら、より良いがん医療を提供しています。

年度別	患 者 数				紹介率	逆紹介率
	初診患者 (休日・夜間を除く)	紹介患者	救急自動車 (初診)	逆紹介患者		
2014年度	14,630人	10,265人	485人	6,985人	73.48%	47.74%

■2011年からは金沢先進医学センターとの連携により、病気の発見にとどまらず、専門医が健康増進や疾病予防のアドバイスを行い、全身をトータルに管理するプレミアムドックを開始しました。

■2013年2月、北陸3県の6大学が、医師主導治験を多施設共同で行うことで国際水準の質の高い臨床研究体制の構築を目指す「北陸臨床研究推進機構」を設立しました。6大学と連携病院で形成した治験・臨床研究ネットワークの中心としての機能を果たしていきます。

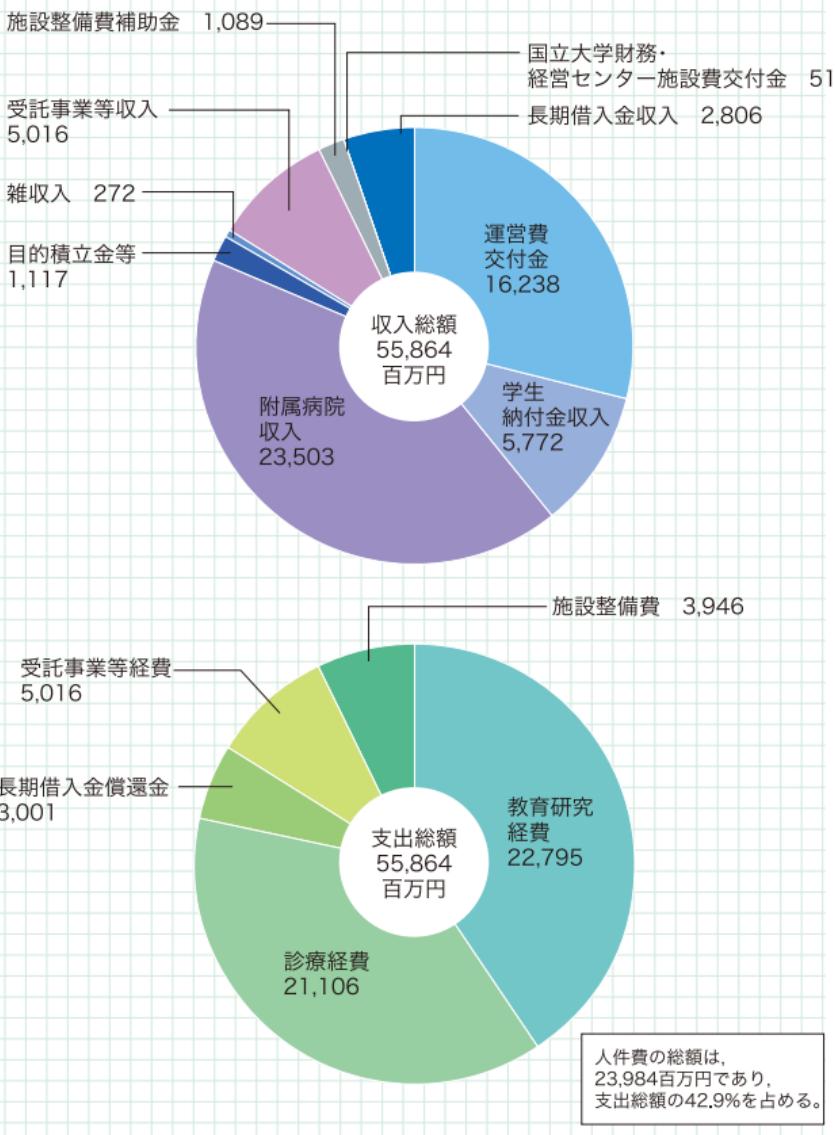
■2013年4月には石川県と連携し、TV会議システムやトレーニングシミュレーターを備えた「金大病院CPDセンター」を設置しました。県内における医療人の育成、専門職能力開発、生涯学習の充実および医療レベルの向上を目的としています。

14 収入・支出予算額

2015年度予算額は約559億円

[2015年度の収入予算額と支出予算額]

(単位:百万円)



- 国からの運営費交付金約162億円は、収入予算額の約30%を占めています。
- 金沢大学の予算額を地方自治体の2015年度一般会計予算額と比較してみると、石川県の約1／10、金沢市の約1／3の金額となっています。

[2015年度一般会計当初予算額]

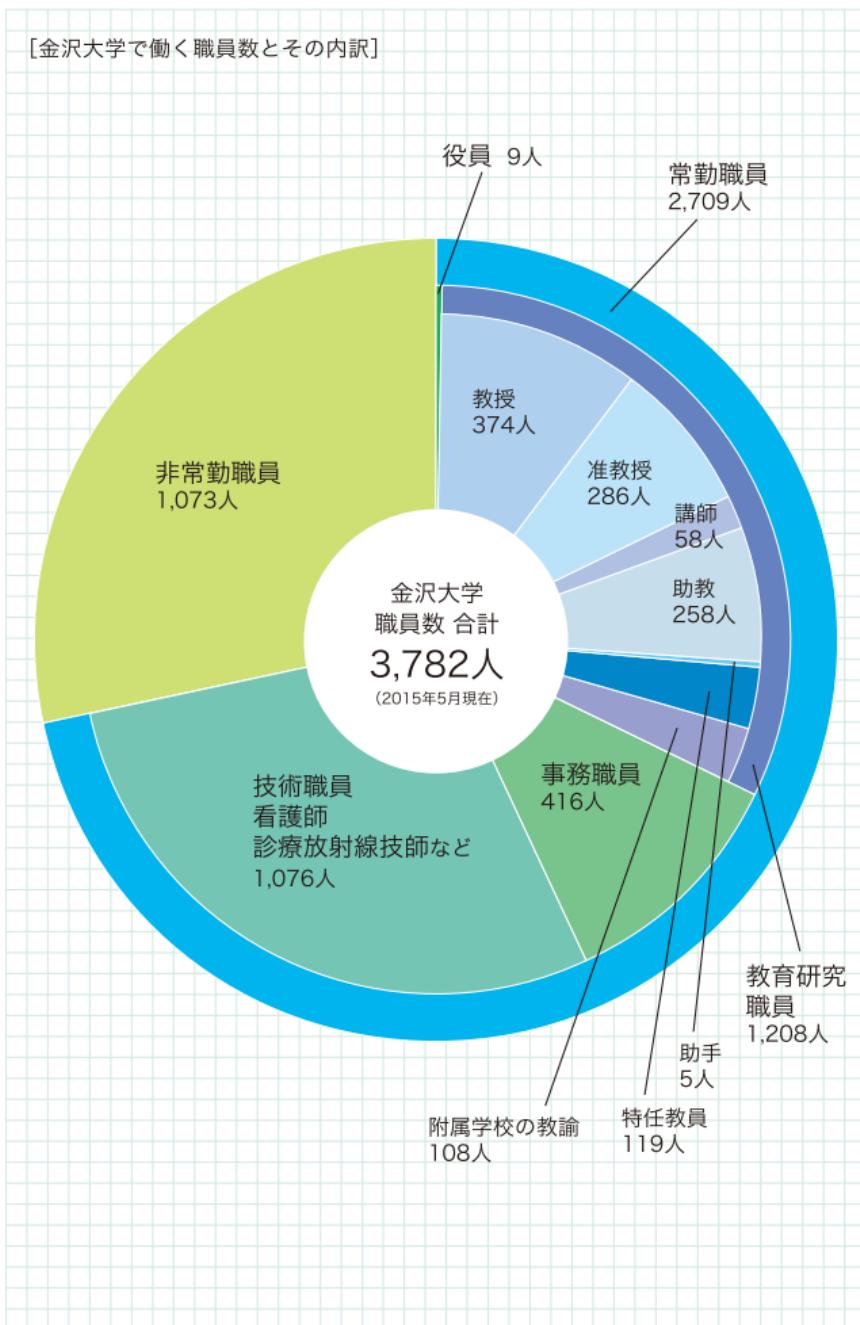
(単位:百万円)

石川県	金沢市
535,874	166,680

自治体のホームページ公表データより

15 職員数

2015年5月現在、
金沢大学で働くスタッフ数は**3,782人**

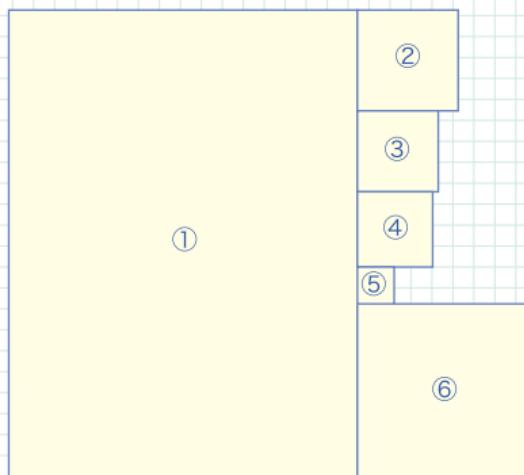


- 金沢大学で働くスタッフ数は常勤2,709人、非常勤1,073人、合計3,782人。うち教育研究職員が1,208人で、学生10人につき、教育研究職員が1人つく割合です。

16 キャンパス面積

豊かな緑に囲まれた
ロケーションにある角間キャンパス
このメインキャンパスをはじめとする
金沢大学の総面積は、約**267万m²**
東京ドームの約**57個分**

[各キャンパスの面積対比]



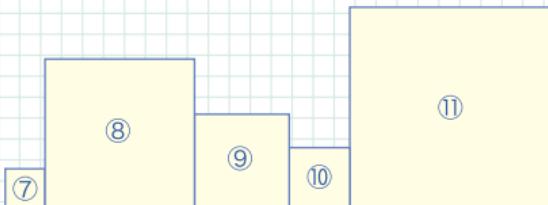
- ①角間キャンパス 2,008,565m²
本部・人間社会学域・理工学域・
医薬保健学域（薬・創薬）・がん研 ほか
②宝町・鶴間キャンパス 151,053m²
附属病院・医薬保健学域(医・保) ほか
③小立野地区 83,342m²
④平和町地区 79,876m²
附属幼・小・中・高

- ⑤東兼六地区 10,517m²
附属特別支援
⑥その他 333,905m²
臨海実験施設
辰口共同研修センター
学生寮・職員宿舎 ほか

$$\text{①} + \text{②} + \text{③} + \text{④} + \text{⑤} + \text{⑥}$$

金沢大学 総面積 2,667,258m²

[比較例]



- ⑦石川県立野球場 20,179m²
⑧金沢城公園(外堀等含む)
約285,000m²
⑨兼六園 114,429m²
⑩東京ドーム 46,755m²
⑪東京ディズニーランド 510,000m²



編 集／金沢大学総務部広報室

所在地／〒920-1192 石川県金沢市角間町

tel.076-264-5024 fax.076-234-4015

U R L / www.kanazawa-u.ac.jp/

E-mail / now@kanazawa-u.ac.jp

※このリーフレットの掲載内容及び最新ニュースなどについては、「金沢大学ウェブサイト」でもご覧いただけます。

※データは特別な記載がある場合を除き、2015年5月1日現在のものです。



2015.7.25000